

カラボー工芸株式会社

2006年度 環境活動レポート

(2006年9月～2007年2月)

(臨時号)



発行 2007年3月

カラボー工業株式会社

環境方針

弊社は創業以来現在に至るまで常に次代を見つめ需要を予想し技術の革新に努力して参りました。現在はスクリーン印刷部門と精密板金部門との二つの柱を軸に業務を展開しております。

これからは、環境保全が重要課題であることを踏まえ、社内全員が環境に配慮した事業活動に取り組み環境負荷の低減に更なる努力を致します。

環境行動方針

- 1．環境関連法規制を厳守します。
- 2．以下について具体的な環境目標を定め、実施計画を立て、継続的改善に努めます。
 - 脱地球温暖化社会のため、当事業所で排出される二酸化炭素の削減(省エネルギー)に努めます。
 - 事業所内の節水に努めます。
 - 循環型社会の構築に向けて、事業所内より出される廃棄物の排出抑制に努めます。
 - リサイクルの促進及びグリーン購入の普及に努めます。
- 3．環境方針は社内に周知し致します。

2006年 11月 20日

カラボー工業株式会社

代表取締役 木戸栄二

□登録事業所の概要

- (1) 事業者名及び代表者名
カラボー工芸株式会社
代表取締役社長 木戸 栄二
- (2) 所在地
本社・印刷工場 〒537-0002 大阪市東成区深江南2丁目16番13号
板金工場 〒537-0002 大阪市東成区深江南3丁目2番1号
- (3) 環境保全関係の責任者及び担当者連絡先
責任者 常務取締役 : 木戸 敬子 TEL : 06-6975-0451
担当者 試作部 : 山口 真央(マサテル) TEL : 06-6975-0451
- (4) 事業内容 (認証・登録の範囲)
本社業務及びスクリーン印刷全般・精密板金加工
- (5) 事業の規模
製品出荷額 3.8億円
従業員 25名
本社工場延べ床面積 416.93 m² 板金工場延べ床面積 220 m²

□環境目標及びその実績

項目		年度	2005年	2006年		2007年	2008年
			(基準年度)	上段: 通年 下段: 2月まで (目標)	(実績)	(目標)	(目標)
二酸化炭素	排出量 (kg-CO ₂ /年)	98,111	95,438	46,670	92,444	89,917	
電力の削減 本社	使用量 (kwh)	97,879	95,921 46,790	49,885	92,985	90,049	
電力の削減 板金工場	使用量 (kwh)	83,621	81,949 39,531	42,056	79,440	76,931	
ガソリンの削減	使用量 (L)	10,081	9,879 4,899	4,099	9,678	9,476	
(参考) 目標設定項目の二酸化炭素排出量(kg-CO ₂)		92,012	90,171 44,003	44,270	87,646	85,118	
一般廃棄物の削減	総量 (トン/年)	10.552	10.023 4.551	4.162	9.495	8.440	
金属屑の削減	総量 (トン/年)	16.94	16.56 6.36	6.24	16.39	16.22	
水道水の削減	総量 (m ³ /年)	558	502 260	286	474	446	
省資源・グリーン購入	再生品購入量 (kg/年)	0	240 120	0	336	384	

□環境活動の取り組み計画と評価

今回は期の途中のため、2月までの目標とその実績について集計し、その評価を行った。

取り組み計画	達成状況	評価（結果と今後の方向）
電力の削減（本社） ・小集団活動による節電運動 ・昼休みの消灯 ・ケルビズ・ウォームビズ運動 ・冷房 26℃暖房 25℃	目標：46,790kwh （2005年度比△2%） 実績：49,885kwh 率：106%（実績/目標）	目標達成していないが、昨年より更に売上が伸びているためと思われる。今後の様子を見たい。
電力の削減（板金工場） ・小集団活動による節電運動 ・昼休みの消灯 ・ケルビズ・ウォームビズ運動 ・冷房 26℃暖房 25℃	目標：39,531kwh （2005年度比△2%） 実績：42,056kwh 率：106%（実績/目標）	目標達成していないが、冬期用の灯油ヒーターを電気の冷暖房に買い換えたこと及び昨年8月にレーザー機を買い換えた影響があると思われる。今後の様子を見たい。
ガソリンの削減 ・アイドリングストップ運動の推進 ・急発進、急停止の防止運動の推進 ・冷房温度の控え目使用	目標：4,899L （2005年度比△2%） 実績：4,099L 率：83%（実績/目標）	目標達成 今後燃費についても見ていきたい。
一般廃棄物の削減 ・一般廃棄物削減目標説明 ・分別による古紙のリサイクル化 ・ミスコピーの防止 ・社内での再使用	目標：4,551kg （2005年度比△5%） 実績：4,162kg 率：91%（実績/目標）	目標ほぼ達成 次年度も引き続き、ペーパーレス化などに取り組む
金属屑の削減 ・不良率の削減	目標：6.36 t （2005年度比△2%） 実績：6.24 t 率：98%（実績/目標）	目標ほぼ達成 売上も上昇しているため今後の様子を見たい。
水道水の削減 ・水道水削減目標説明 ・節水呼びかけ	目標：260 m ³ （2005年度比△10%） 実績：286 m ³ 率：110%（実績/目標）	目標未達成 売上増加、人員増加によるものと思われるが、更に節水を呼びかける。
省資源・グリーン購入の推進 ・ティッシュペーパー、トiletペーパー等の再生紙への転換	目標：120 kg （2005年度購入量の50%を再生品に） 実績：0 kg 率：0%（実績/目標）	昨年より購入したものが残っており現在はまだ未購入、今後はグリーン購入を予定している。
総括 ・EA21に取り組んで社内の意識が変わり効果が出てきたように思われる。 ・売上の増加もあり絶対値については未達成のもあるが、今後更に原因を追究し目標を達成したい。 ・二酸化炭素量の削減は、現状では未達成であるが、今年度目標を達成するよう努力していく。		

□環境関連法規制等の順守状況

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りである。

適用される法規制	適用される施設等
廃棄物処理法	定着液、現像液
騒音規制法・振動規制法	空気圧縮機、油圧プレス機、シャーリング(断裁)機
PRTR法	トルエン
労働安全衛生法	トルエン、シクロヘキサノン、コールドールナフサ
消防法（危険物）	シンナー、廃油の保管

環境関連法規制等の順守状況の定期評価の結果、PRTR法への未届けがあることが判明したため、早急に届出をすることにした。以上